

旧庁舎建設予定地の活用について

旧庁舎建設予定地の将来ビジョンは？



代表質問 高島新政クラブ 議員
廣本 昌久

答 利活用の検討は行っていません。

問

市長が当然描かれていたであろう、旧庁舎建設予定地の将来ビジョンを伺う。

答

市長 庁舎位置条例変更までは、条例上の庁舎位置であり、利活用の検討は行っていません。

問

土地利活用の方向性と検討の進め方を伺う。

答

市長 幅広い角度から内部的な調査と研究を進め、具体的に検討する段階で、議会をはじめ、市民の皆様との合意形成を図ってまいります。



今津南沼市有地

問

旧庁舎予定地は、官公署集積地、特急停車駅、幹線道路、若狭との分岐点また、びわ湖を一望する最高の立地であり、活用次第で本市が大きく発展する可能性がある。大学の福祉や観光等の学部、専門学校等、若者人口が増える施策で活力のある若者の街として、誘致を進めて頂きたい。

答

市長 当該市有地をどのように活かすことが、本市の持続可能な発展に繋がるかとの視点で、市の財政状況や地域の特性も勘案しながら様々な角度から可能性を研究する必要があると考えます。大学等の誘致は、一つの貴重な提案であると思います。以前、私学に学部創設を打診し不調に終わりましたが、学部開設には議論を始めてから十数年〜二十年要するとの事です。いずれにしても、様々な課題が内在し、あらゆる角度から検討していきたいと考えています。

問

土質ボーリング調査の結果、「産業廃棄物の埋立地である」等の風評が流れ、土地利用を考える上で大きなリスクになると考えられますか。

答

市長 地質調査の結果、表層の盛土部分にコンクリート殻や瓦礫等が含まれていますが、また、当該地が以前は沼地であったことも起因し、地下の地盤が軟弱で液状化の可能性があり、中層以上の建造物を建てる場合には、約50メートルの基礎杭が必要で、また土壌改良や液状化対策も必要との結果です。

その他の質問

- ごみ焼却処理業務の民間委託と新たな環境センターの建設について
- 公民館事業の充実について